



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月9日

上場会社名 コムシード株式会社
 コード番号 3739 URL <http://www.commseed.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽成 正己
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 小倉 誠
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名

TEL 03-5289-3114

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	162	△17.4	△41	—	△45	—	△45	—
25年3月期第1四半期	196	△26.3	△68	—	△67	—	△67	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△1,205.81	—
25年3月期第1四半期	△1,810.67	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	411	252	61.4
25年3月期	313	173	55.2

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 252百万円 25年3月期 173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	350	2.0	△35	—	△40	—	△40	—	△968.59
通期	800	19.1	15	—	10	—	10	—	231.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年6月28日を払込期日とする第三者割当増資により、普通株式7,634株を発行しております。これに伴い、平成26年3月期の業績予想に記載の1株当たりの当期純利益については、当該第三者割当増資により発行した株式を加味した株式数で計算しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	45,134 株	25年3月期	37,500 株
26年3月期1Q	166 株	25年3月期	166 株
26年3月期1Q	37,585 株	25年3月期1Q	37,334 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済政策や金融緩和による期待感から円安・株高が進行し、全体としての景況感は改善されつつありますが、海外経済の減速懸念もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く事業環境は、国内のSNSプラットフォーム向けソーシャルゲーム市場が引き続き拡大を続けており、今後もさらなる成長が期待されております。

このような事業環境の中、当社はモバイル端末向けのソーシャルゲームを中心とした事業展開を進めております。当第1四半期累計期間における業績は、従来のフィーチャーフォン向け携帯公式サイト売上については穏やかな減少傾向にあるものの、ソーシャルゲームは既存サービスの拡充により好調に推移しました。

以上の結果、売上高は162,797千円（前年同期比17.0%減）、営業損失41,530千円（前年同期は営業損失68,159千円）、経常損失45,082千円（前年同期は経常損失67,026千円）、四半期純損失45,320千円（前年同期は四半期純損失67,599千円）となりました。

なお、当社はモバイル事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりませんが、事業におけるサービス分野別の主な取り組みは、以下のとおりであります。

- ①ソーシャルゲームについては、グリー株式会社が展開する「GREE」で展開中のバーチャルホール「グリパチ」が新規のパチンコ・パチスロの投入と既存サービスの拡充により、6月末の登録会員数が100万人を突破いたしました。また、「不思議の森」シリーズの新作として「不思議の森の雑貨屋さん」を、5月に「GREE」でサービスを開始しました。
- ②スマートフォン関連については、5月よりAndroid OS搭載スマートフォン向けにスロットアプリ「アントニオ猪木が伝説にするパチスロ機」をGoogle Playにて配信を開始し、ユーザーからの人気を博し好調に推移しております。
- ③フィーチャーフォン向け携帯公式サイトについては、ユーザーのスマートフォン移行により、売上が減少傾向であることから既存ユーザーの継続利用に向け、当社オリジナルのパチンコ・パチスロ総合情報サイトである「パチンコ倶楽部」において、パチンコ・パチスロの機種情報やそれらの攻略情報のさらなる充実化に取り組むとともに、スマートフォンサイト対応キャリアの拡充に努めました。また、メーカーオフィシャルサイトにおいても、パチンコ・パチスロの新機種導入時にタイムリーな情報提供を行い、サービスの拡充に取り組みました。
- ④パチンコ店舗向けサービスでは、店舗向けサービスのラインナップ拡充を行いました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べて98,206千円増加し、411,663千円となりました。これは主に流動資産で現金及び預金、売掛金並びに前渡金が増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べて18,565千円増加し、158,887千円となりました。これは主に流動負債で買掛金、未払金並びに前受金が増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べて79,640千円増加し、252,775千円となりました。これは第三者割当増資による資本金及び資本準備金の増加と四半期純損失の計上によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年5月10日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、平成25年6月28日を払込期日とする第三者割当増資にともない、1株当たり当期（四半期）純利益の修正を行っております。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度において営業損失295,505千円、当期純損失348,515千円を計上し、当第1四半期累計期間においても営業損失41,530千円、四半期純損失45,320千円を計上している状況から、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社が事業を展開するモバイル事業においては、スマートフォン市場の成長と従来のフィーチャーフォン市場の段階的な縮小が進行しており、環境が大きく変化しております。このような環境のもと、当社は、ユーザーの市場移行による影響により携帯公式サイトの課金対象会員数も減少傾向にあることから、これに歯止めをかけるべく事業を推進しつつ、スマートフォン向けアプリの企画開発に注力しております。しかしながら、この市場の変化により引き続き当社の業績と成長も大きく影響を受けることから、早急に対策を講じる必要があります。

当社は、当該事象又は状況を解消するために、下記の改善施策を進めております。

収益面については、フィーチャーフォンからスマートフォンへのトレンドが大きくシフトする中、事業モデルについてもスマートフォン向けコンテンツビジネスへのシフトを強化し、経営資源を集中させ、さらなるユーザー獲得の強化を図ってまいります。

コスト管理については、製造原価における社内開発の稼働率を向上して外注費を圧縮し、販売費及び一般管理費においても人件費の削減や広告宣伝費の見直しを進めることで、コストの削減を図ってまいります。

財務面については、第1四半期累計期間において損失を計上し、当第1四半期会計期間以降も新たにスマートフォン向けアプリの開発費や新規事業の開発費等が増加することから、引き続き手元流動性の低下が見込まれます。このため、事業活動を安定的に行う資金の確保に向け、第三者割当増資より資金調達を行いましたが、今後も資本政策を含めた新たな資金調達の検討及び交渉を進めてまいります。

これらの改善施策に取り組むことにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は、認められないものと判断しておりますので、四半期財務諸表の注記には記載しておりません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,021	165,747
売掛金	100,033	108,777
商品及び製品	8,080	7,337
原材料及び貯蔵品	5,155	4,904
その他	27,535	40,155
貸倒引当金	△11	△24
流動資産合計	223,815	326,897
固定資産		
有形固定資産	25,388	23,770
無形固定資産	25,459	22,566
投資その他の資産		
破産更生債権等	38,665	38,098
その他	38,793	38,428
貸倒引当金	△38,665	△38,098
投資その他の資産合計	38,793	38,428
固定資産合計	89,641	84,765
資産合計	313,456	411,663
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,261	38,574
短期借入金	50,000	50,000
未払法人税等	1,129	704
その他	20,368	37,045
流動負債合計	107,759	126,325
固定負債		
退職給付引当金	10,806	10,806
役員退職慰労引当金	19,329	19,329
その他	2,427	2,427
固定負債合計	32,562	32,562
負債合計	140,322	158,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	568,883	631,367
資本剰余金	—	62,476
利益剰余金	△378,393	△423,713
自己株式	△17,355	△17,355
株主資本合計	173,134	252,775
純資産合計	173,134	252,775
負債純資産合計	313,456	411,663

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	196,980	162,797
売上原価	152,593	117,027
売上総利益	44,387	45,769
販売費及び一般管理費	112,547	87,299
営業損失(△)	△68,159	△41,530
営業外収益		
受取利息	10	—
業務受託料	1,125	—
貸倒引当金戻入額	—	567
その他	1	153
営業外収益合計	1,137	720
営業外費用		
支払利息	4	180
支払手数料	—	2,249
株式交付費	—	1,843
営業外費用合計	4	4,272
経常損失(△)	△67,026	△45,082
税引前四半期純損失(△)	△67,026	△45,082
法人税、住民税及び事業税	572	237
法人税等合計	572	237
四半期純損失(△)	△67,599	△45,320

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年6月28日付で、株式会社サイカン、株式会社応援団、オズミックコーポレーション株式会社、ネクストイノベーション株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期累計期間において資本金が62,484千円、資本準備金が62,476千円増加し、当第1四半期会計期間末において資本金が631,367千円、資本準備金が62,476千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	モバイル事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	189,849	7,131	196,980	—	196,980
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	189,849	7,131	196,980	—	196,980
セグメント利益又は損失(△)	△16,555	△6,940	△23,496	△44,663	△68,159

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△44,663千円は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

当社は、フィーチャーフォン及びスマートフォン並びにパソコンのインターネットを通じてユーザーやパチンコ・パチスロホールに対し、コンテンツの提供や情報の配信を行うモバイル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

なお、従来、「モバイル事業」と「その他事業」の2つを報告セグメントとしておりましたが、平成24年12月をもって「その他事業」を終了したため、「モバイル事業」のみとなっております。